

令和4年度 比治山大学 卒業証書学位記・修了証書授与式 学長告辞

広島の地にも桜前線が近付き、春の息吹を感じることができるこの善き日に、本日、学部卒業生358名、大学院修了生5名、短期大学部卒業生223名、専攻科修了生12名、計598名に卒業証書学位記・修了証書を授与いたしました。本学を代表して、卒業生・修了生の皆さんに心よりお祝い申し上げます。保護者の皆様におかれましても、これまでのご苦勞に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

また卒業生・修了生の新たな門出を祝福するためにご多忙の中ご臨席を賜りました来賓の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

こちら広島国際会議場での卒業式は実に3年ぶりとなります。皆さんの大学生活は、新型コロナウイルス感染症の影響で一変し、遠隔授業への対応、行事や諸活動の制限等で不安や焦りをかかえながら過ごしてきたのではないのでしょうか。しかしながら、皆さんは右往左往しながらも本日の卒業式を迎えることが出来ました。

これから社会に出る皆さんは、こうした大きな変化の中でも、それをチャンスに変えていく。そして、様々な事柄に積極的に関与し、国内外の様々な組織や個人との繋がりを大切にしながら、自ら課題を見つけ、自ら考え解決し続けてほしいと思います。

そのヒントとして、アメリカ心理学会会長も務めたことのあるセリグマン教授が提唱する「ポジティブ心理学」を皆さんにお伝えしたいと思います。

セリグマン教授は「幸せ」に必要なものとして、

- 一 ポジティブ感情（能動的に取り組む積極的な思いを持つこと）
- 二 エンゲージメント（活動に対して能動的に係わり、それを楽しみ没頭できること）
- 三 人間関係（一人では生きていけないので他者との関係が重要であること）
- 四 行動することの意味や意義をもつこと
- 五 達成を継続すること（目標を達成した時の爽快感）

が存在しているとしています。ポジティブ心理学が示すように、積極的な行動と前向きに物事を捉えることで、道が開かれるのではないのでしょうか。

社会はいつまでも「学び続ける人間」、全ての事に「挑戦を続ける勇気のある人間」を求めています。巣立っていく皆さんが健康であり続け、これからも本学での体験を活かして不断に学び続け、希望に満ちた明るい未来を切り拓かれることを祈念し、はなむけの言葉といたします。

令和5年（2023年）3月17日

比治山大学・比治山大学短期大学部
学長 石井眞治